

整理番号

D-6-5 553

標 題 名

るびー蠟虫駆除之成績

著 者 名

発行者名

静岡県庵原郡柑橘同業組合

発 行 年

大正 7 年（1918 年）

製作年月

2026 年 8 月

るびー蠟虫驅除之成績



静岡縣庵原郡柑橘同業組合

T. Noguichi

本書ハ大正七年七月二十日ヨリ全廿九日迄及八月八日ヨリ全十二日ニ至ル十五日間本組合ニ於テ施行シタルるび一蠟蟲ノ驅除成績ヲ記述シタルモノニシテ特ニ上梓シタルハ本縣廳ニ報告スルト共ニ當業者ニ頒チテ參考ニ資セシムル所アラシガ爲メナリ

大正七年九月

静岡縣庵原郡柑橘同業組合

るびー蠟蟲驅除ノ成績

目次

第一編	緒言	一
-----	----	---

第一章	るびー蠟蟲ノ來歴	一
-----	----------	---

第二章	るびー蠟蟲ノ分布及發生區域	二
-----	---------------	---

第三章	るびー蠟蟲ノ形態	六
-----	----------	---

第四章	るびー蠟蟲發生經過及習性	八
-----	--------------	---

第二編	驅除準備	一〇
-----	------	----

第一章	一齊驅除施行ノ發端	一〇
-----	-----------	----

第二章	第一回ノ協議	一一
-----	--------	----

第三章	第二回ノ協議	一五
-----	--------	----

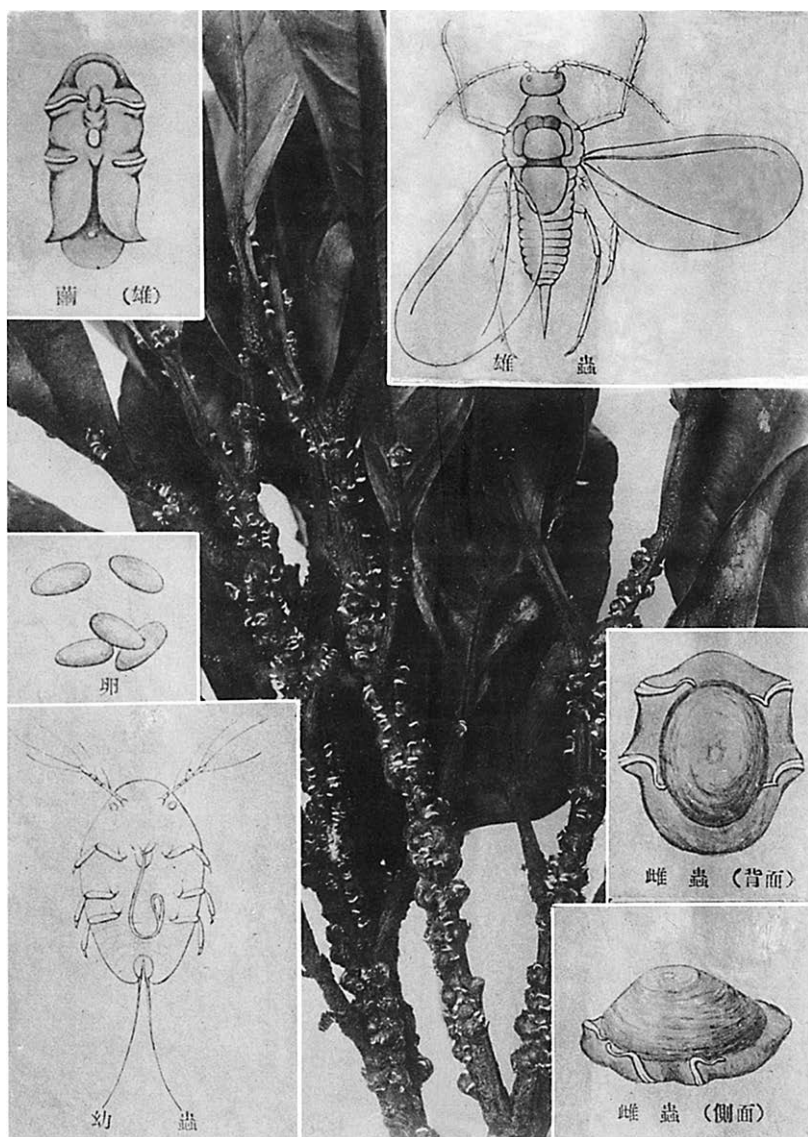
第四章	第三回ノ協議	二二
-----	--------	----

第三編	驅除ノ實行	二五
-----	-------	----

第一章	驅除費豫算	二五
第二章	驅除用品	二九
第三章	驅除着手	三一
第四章	藥劑ノ調製及撒布方法	三三
第四編	驅除ノ終了	三四
第一章	驅除ノ成績	三四
第二章	驅除人夫及藥劑製造量	四三
第五編	結論	五〇

るびー蠟蟲驅除之成績目次終

る び - 蠟 蟲



シ被害反別百五拾四町壹反步餘ニ達シ尙漸次蔓延ノ傾向アリ而シテ被害ノ劇甚ナル個所、樹勢ノ衰弱甚シク枝梢枯死セルモノ多ク加フルニ煤病ヲ併發シテ樹葉ヲ黑變セシメ收穫皆無ノ慘狀ヲ呈シ大ニ當業者ノ心膽ヲ寒カラシメタリ

第二章 るびー蠟蟲ノ分布及發生區域

本蟲ハ其分布甚タ廣ク海外ニテハ布哇錫蘭濠洲等ニシテ本邦ニテハ沖繩、長崎、佐賀、福岡、兵庫ノ各縣及本郡ニ發生シテ大害ヲ爲シツ、アリ其他本縣富士郡今泉村及安倍郡麻機村ノ柑橘園ニ於テ稀ニ本蟲ヲ發見シタル事アルモ本郡ノ如ク其被害劇甚ナラス

其被害植物ハ柑橘類中ニテモ温州蜜柑紀州蜜柑特ニ甚シク「ネーブル、オレンジ」ハッ代蜜柑之レニ次キ夏橙金柑等ニハ寄生スル事極メテ少シ又柿茶樹ニモ好ンテ寄生シ其他ノ果樹糧觀賞植物雜草木等ニモ寄生ス本郡ニ於テ調査セル所ニ依レハ「ツルウメモドキ」(衛矛科) カキ(柿樹科) ヒサカキ(山茶科) 茶樹(山茶科) ミツバアケビ(木通科) イヌタデ(蓼科) シゲシダ(羊齒門科) フキ(菊科) コンギク(菊科) ハコベ(石竹科) コンニヤク(南天星科) カラタチ(芸香科) クワ(桑科) ノ十一科十三種類ナリ而シテ大正七年春季ニ於ケル發生區域ハ九ヶ町村三十七ヶ字ノ柑橘園ニシテ被害反別百五十四町一反一畝一步ノ多キニ達セリ今之レヲ各町村大字別ニ區分スレバ左ノ如シ

町 村 名			大 字 名			被 害 反 別		被 害 樹 數	
計			計			五〇四〇〇 ^反		三五七〇 ^本	
富士川町			木島			五〇四〇〇		三五七〇	
蒲原町			蒲原			四六〇五		三四六	
由比町			東山寺			四〇〇〇		二八〇	
全			由比			二〇〇〇		一四〇	
全			阿僧			一〇〇〇		五〇	
全			西倉			四七〇〇		三七六	
計			四			一一七〇〇		八四六	
小島村			小嶋			三三六〇八		二二九八	
全			立			六二〇〇		四一〇	
全			但沼			三〇三〇〇		二〇四二	

袖師村			興津町								小嶋村
全	全	計	全	全	全	全	全	全	全	計	小嶋村
西嶺横	清興中八横谷薩承	小	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	清興中八横谷薩承	小	小
久	見	河	見	見	見	見	見	見	見	河	河
保砂	八寺津宿間山津陞寺	四内	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	八寺津宿間山津陞寺	四内	四内
五二七二五	八二〇四	四〇〇四二三	四〇〇四二三	一四五四二一	八〇二八	三九一〇一	一一九一一九	二四〇一	四〇〇二三	二八〇〇	八二五〇八
三九八九	七三一	二二六〇八	二二六〇八	八九五一	四二二	二三一〇	七二六五	一五一	二一七一	一一九	五五二二
二四五〇二三	一六六一二	二二六〇八	二二六〇八	八九五一	四二二	二三一〇	七二六五	一五一	二一七一	二二九九	七六二

[illegible]

合 計	庵 原 村			茂 畑		
	全 計	高 部 村	全 計	大 内	柏 尾	梅 ヶ 谷
三七	三	三	一五四一	二八三〇〇	四六〇〇	一八一〇〇
一〇〇一	一七三七	二七二六	一〇〇一	一七三七	三〇〇二九	一一二六
一四七	二七二六	三三〇〇	一四七	二七二六	三三〇〇	一一二六

第三章 るびー蠟蟲の形態

一 雌 蟲

體軀ヲ包メル蠟質分泌物ハ始メ紅色ナルモ漸次淡紅色ニ變シ老熟スルカバ小豆色ヲ呈ス中央部ハ隆起シテ半球狀ヲナシ周縁ハ擴リテ側面ヨリ見ルキハ凸字狀ヲ爲セリ中點ハ暗黒ヲ帶ビ回輪ヲ以テ圍マル背面ニハ四個ノ蠟質白帶アリ此者ハ何レモ腹面氣門部ヨリ起レリ蠟質ノ長サ三乃至四耗アリ雌蟲體ハ帶紫紅色ニシテ半球形ヲナシ體縁ノ氣門部ニ二個ノ稍深キ縊レアリテ一個ノ圓錐狀ヲナセル

刺毛ヲ有シ之レニ近ク數多ノ球狀刺毛ヲ有ス體側ノ緣毛ハ顯著ナラズ三角板ハ大ニシテ略梭狀ヲナシ底邊甚ダ短ク頂天ニ近ク三箇ノ刺毛ヲ有ス觸角ハ六環節ヨリ成リ第三環節最モ長ク第四五及六ノ三環節ヲ合セタルモノト殆ンド同長ナリ末端環節ニハ幾多ノ長毛ヲ生ズ脚ハ小ニシテ脛節ト跗節トハ癒合シテ明瞭ニ區別スルコト能ハズ爪ハ大ニシテ僅カニ灣曲セリ

二 雄 蟲

體ハ細長ニシテ暗紅色ヲ呈シ眼及口部ハ黑色觸角脚及交接器ハ淡黃色ナリ觸角ハ細長クシテ十環節ヨリ成リ第一第二ノ兩環節ハ短大ニシテ第四環節最モ長ク第五環節之レニ次ギ其他ハ略同長ナリ各環節ニ微毛ヲ生ズ翅ハ擴大ニシテ白色半透明ナリ前方ノ翅脈ニ沿ヒ淡紫色ノ帶狀線アリ胸背ノ橫板ハ暗赤色ニシテ顯著ナリ體長一耗翅開長二、四耗交接器〇、二耗アリ

三 卵 橢圓形ニシテ淡褐色ヲ呈シ光輝アリテ長徑〇、二耗アリ

四 幼 蟲

孵化當時ノ幼蟲ハ扁平橢圓色ニシテ雌雄ノ區別判明セズ背面少シク隆起シ淡赤褐色ヲ呈ス眼ハ濃赤色ニシテ觸角及脚ハ淡色ナリ尾端ヨリハ體長ノ約二分ノ一程ノ長毛二本ヲ生セリ觸角ハ六環節ヨリ成リ第三環節最モ長ク第六環節之レニ次ギ其他ハ略同長ナリ體長〇、三耗アリ

五 繭

雄蟲ノ蛹ヲ被覆スル蠟質分泌物ヲ云ヒ其形ハ雌蟲ニ比シ遙ニ小形ニシテ暗紅色長橢圓形ヲ呈シ背面僅ニ隆起シ中央ニ白色ノ小殻點ヲ有シ腹面ヨリ起リ背面ニ向ヘル四條ノ白色帶狀線ヲ有ス中央殻點ノ後方ニ凹陷セル溝ヲ有シ尾端ニ通ズ後方ニ近ク圓形ノ分泌口アリ體長一、五耗幅〇、八耗内外アリ

六 蛹

體ハ長橢圓形ニシテ淡黃色ヲ呈シ胸背ハ濃色ナリ觸角脚翅袋及交接器ハ何レモ淡黃色ナリ體長一耗内外アリ

第四章 るびー蠟蟲發生經過及習性

本蟲ハ年一回ノ繁殖ヲ營ミ越年セル雌蟲ハ六月下旬ヨリ産卵ヲ始メ七月下旬頃全ク産卵ヲ終ル九月上旬ニ至リ雄蟲羽化シ交尾後受精シタル雌蟲ノ狀態ニテ越年ス

習 性

本蟲ハ老熟スルキハ略球狀ニ膨大シ體下ニ産卵ヲ始メ産卵ト共ニ漸次腹面ハ凹陷シテ其下部ニ卵ヲ推積ス斯クシテ全ク産卵ヲ終ルト共ニ斃死ス而シテ卵ハ數時間乃至一、二日ニシテ孵化シ間モナク體下ヲ這ヒ出デ樹上ヲ這ヒ廻リ適當ナル個所ヲ求メテ寄生ス寄生シタルモノハ四五日ニシテ紅色ノ蠟質物ヲ分泌シ體ヲ覆フニ至ル斯クシテ一度寄生セルモノハ再ヒ移動スルコトナク漸次成長シ九月上旬頃ニ

至レバ雄蟲羽化シテ交尾ス

産卵數

雌蟲ノ産卵ハ短キハ八日長キハ二十二日ニ亘リ一日少キハ一粒多キハ三百十一粒ヲ産出シ一雌蟲産卵數ハ最少四百九十粒最多千五百十粒平均九百七十八粒ニ達シ尙死滅セルモノ、體內ニハ二三百粒ノ卵粒ヲ藏セルヲ認メタリ

絶食生存日數

本蟲ハ枝梢ト共ニ切離シ置ク共長日月間生命ヲ保ツノミナラズ尙能ク繁殖スル能力アルヲ認メタリ即チ本縣立農事試驗場ニ於テ大正六年四月二十日小枝ニ寄生セルモノヲ採取シ置キ六月二十七日調査セルニ尙七四%ノモノハ生存シ且繁殖セルヲ認メタリト云フ如何ニ本蟲ガ絶食日數ノ長日ニ堪ユルモノタルヤヲ知ルベク又剪定ノ枝ト雖其儘園内ニ放置スルハ時期ノ來ルト共ニ是等ノモノガ繁殖シテ折角ノ手入レモ徒勞ニ歸スルコトアルベキニ依リ注意セザル可ラズ

寄生狀況及傳播

孵化當時ノ幼蟲ハ能ク歩行シ且常ニ上昇シテ新葉乃至新梢ニ寄生ス特ニ雄蟲ハ葉柄又ハ葉ノ表面中央脈ニ沿ヒテ寄生スル傾アリ幼蟲當時ハ相當間隔ヲ置キテ寄生スト雖成長スルニ從ヒ漸次相接近シ老熟ニ近ケルモノハ體軀相接シ奇形ヲ呈スルモノ少カラズ爲メニ全ク樹枝ヲ覆フニ至ル本蟲ハ他ノ介殼蟲

ト同様專ラ苗木ニ附着シテ遠隔ノ地ニ傳播セラル、ノミナラズ又風水小島昆蟲及人爲ニ依リ傳播セラル、事少カラズ是ハ幼蟲ノ孵化當時ニ起ル現象ニシテ一般風下ノ園ニ向ヒテ蔓延シ或ハ園内出入ノ際農夫ノ衣服農具等ニ附着シ居ルハ屢々目撃セル事實ナリ

備考 第三章及第四章ハ静岡縣立農事試驗場報告柑橘害蟲るび蠟蟲ヨリ轉載

第二編 驅除準備

第一章 一齊驅除施行ノ發端

るび蠟蟲ノ習性及經過ハ前述ノ如ク年一回ノ發生ニシテ其加害程度ハ頗ル猛烈ヲ極メ之レガ驅除法ニ至リテハ從來青酸瓦斯燻蒸法ノ外殆ンド驅除スベキノ良法ナク當局者モ其驅除法ニ苦心シツ、アル内本縣立農事試驗場ニテハ吉田技手擔任ノ下ニ大正六年七月中旬即チ本蟲ガ蠟質物ヲ完全ニ分泌セザル期節ヲ選ミ小島村小島ニ於テ藥劑撤布ノ驅除試驗ヲ施行シタルニ良好ナル成績ヲ收メタリ依テ本組合ハ之レガ一齊驅除ヲナサンコトヲ計畫セルモ莫大ナル經費ヲ要シ且ツ施行方法ノ困難ナルヲ以テ躊躇シツ、アリシガ本期ヲ經過スルニ於テハ尙一層驅除ノ困難ナルヲ看取セルヲ以テ六月一日縣立農事試驗場長岡田技師本縣柑橘同業組合聯合會組長橋本馬吉本組合長青木周作ノ三氏相携ヘテ本縣廳ニ出

頭シ之レガ驅除方ヲ請願セリ縣ニ於テモ亦事態ノ容易ナラザルヲ察シ大ニ同情ヲ表セラレ組合ニ於テ一齊驅除ヲ施行スルニ於テハ農商務省トモ協議ノ上相當ノ補助ヲ爲スベキ様盡力スベシトノ内命ニ接セリ依テ組合ハ六月六日評議員會ヲ開キテ驅除費ノ補助ヲ正式ニ本縣ニ出願シ全廿四日補助額ノ内命ニ接シタリ茲ニ於テ組合ハ愈々一齊驅除ヲナスノ計畫ヲ樹テ六月廿八日評議員會ヲ超ヘテ七月四日臨時組合會ヲ召集シテ驅除費豫算ヲ議決シ本事業ヲ遂行スルニ至レリ是レヨリ先本年四月下旬縣立農事試驗場吉田技手ハ本郡いせりや介穀蟲被害狀況調査ノ爲メ出張セラレ本蟲被害ノ實況ヲ視察シ青木組長ニ對シ其加害程度ヲ詳細ニ縷陳セルコトアリ組長ハ直ニ職員ヲシテ其狀況ヲ詳細ニ調査視察セシメタルハ抑今回ノ一齊驅除ヲ施行スルノ動機トハナレルナリ

第一章 第一回ノ協議

るビ一蠟蟲驅除費豫算決定スルヤ本縣ニ於テハ七月五日主ナル關係者ヲ本縣廳ニ招集シテ實行上ニ付協議會ヲ開ケリ當日ノ出席者ハ

産業課長（理事官）	守屋磨瑾夫
保安課長 静岡縣警視	高橋雄豺
庵原郡長	雀部咸宜

靜岡縣屬	楠嶋信龜
全	矢島贊雄
靜岡縣農會技師	梶正雄
縣立農事試驗場長	狩野辰男
全	岡田忠男
全	場技師
全	場技手
靜岡縣警部補	矢崎宗十郎
靜岡縣柑橘同業組合聯合會組長	橋本馬吉
庵原郡農會幹事	山内順吉
庵原郡柑橘同業組合組長	青木周作
全	組合囑託
全	組合事務員
全	組合檢查員
全	有渡根由藏
全	興津藤太郎
全	内田郁太

以上十四名ニシテ守屋産業課長會長席ニ就キ一同ニ對シ左ノ趣旨ヲ述ブ

今回庵原郡ニ發生シ柑橘ニ對シ慘害ヲ逞フシツ、アルバト蠟蟲ニ就テハ農商務當局並ニ本縣當局ニ

於テモ非常ニ痛心憂慮セラレ居ル事故一齊驅除施行ニ依リテ其撲滅ヲ圖ラザルベカラズ特ニ國庫並ニ本縣ヨリハ補助金ヲ交付シ庵原郡柑橘同業組合ヲ主体トシテ驅除施行ニ努力セシメ官民一致協力シテ充分ナル効果ヲ收メラレンコトヲ期シ茲ニ諸君ノ御會同ヲ煩シタル所以ナリ

一 庶務部 器具藥品人夫等一切ノ庶務

庶務部長 青木周作

庶務副部長 久保田尙夫

庶務監督 矢島贊雄

庶務委員 高橋一

全 興津藤太郎

全 有渡根由藏

附屬人夫(小使) 一人

二 技術部

總監督

監督

第一班

狩野技師
岡田技師

監督 第三班 吉田 技手

三 臨時監督 隨時必要ニ應ジ各班ヲ監督スル事

國縣係員

郡長郡書記町村長及町村農會長

警察官

縣柑橘聯合會組長

縣郡農會關係者

四 實行班

第一班 (各班ニ通ズ)

受持區域 別紙ノ通り (各班同様)

班長 一人

實行委員 若干名

人 夫 二人宛

五 協議事項

(1) 期日 七月二十日ヨリ晴天十日間

(2) 本部 庵原郡組合事務所

(3) 藥品ノ使用量ハ之レヲ明細ニナシ置クコト

(4) 噴霧器其他ノ器具機械ハ組合ニ於テ必要ダケ準備スルコト

(5) 人夫消耗品(苛性曹達ヲ除ク)右同様

(6) 郡組合ハ驅除施行前日迄ニ被害園ニ町村大字小字番地反別所有者氏名ヲ記シタル建札ヲ建テ之レニ赤色ノ布片ヲ付ケ置クコト

(7) 實施濟ノ果園ハ檢査ノ上前項ノ赤布ヲ取り白布ヲ付シ實施濟ノ印トスルコト

(8) 實施反別ハ明瞭ニ記帳シ置クコト

(9) 實施前郡ノ事務所ニテ各斑幹部ヲ召集ノ上委細ノ方法ヲ協議ノコト

右案ヲ協定シ尙庵原郡長ヨリ郡内各町村長庵原郡農會長ヨリ各町村農會長ニ對シ實施監督方ヲ依頼スルノ通知ヲナス事實施日割確定ノ上ハ各町村駐在巡查ニ監督援助ヲ依頼スル事等ヲ協定シテ散會セリ

第三章 第二回ノ協議

七月七日縣立農事試驗場内ニ於テ第一回協議會ニ於テ協定シタル事項ノ細目ニ亘リ第二回協議會ヲ開ク出席者ハ

全

全

縣立農事試驗場長

全

場
技
師

全

場技手

庵原郡農會技手

庵原郡柑橘同業組合長

全

組合副組長

全

組合囑託

全

組合事務員

全

組合検査員

有
渡
根
由
藏

以上十二名ニシテ左記實施方法及順序並ニ實施日割ヲ協定シテ散會セリ

るびー蠟蟲一齊驅除ハ庶務部技術部ノ二部ニ分チ實施ス

一庶務部

器具藥品ノ出納整理人夫ノ雇入等一切ノ庶務ニ關スル事項

部長 青木周作

副部長 久保田尙夫

庶務監督 矢島贊雄

庶務委員 高橋一

全 興津藤太郎

全 有渡根由藏

附屬人夫 一人

二 技術部

藥品ノ調製及撒布ノ指導功程調査其他技術ニ關スル一切ノ事項

總監督 縣立農事試驗場長 狩野辰男

監督 第一班第二班會場技師 岡田忠男

第三班第四班全場技手 吉田嘉七

隨時必要ニ應ジ各班ヲ監督スルコト

三 臨時監督
1 國縣係員

2 郡長郡書記町村長町村農會會長

3 静岡縣柑橘同業組合聯合會組長

4 縣郡農會關係者

四 驅除本部ハ庵原郡柑橘同業組合事務所内ニ置ク

五 各班ノ班長及實行委員ノ配置ヲ定ムルコト左ノ如シ

第一班

班長 庵原郡柑橘同業組合囑託 内田郁太

高部村實行委員 久保田尙夫

全 永野敬次郎

飯田村實行委員 平井國松

全 齋藤清一

袖師村實行委員 橋本馬吉

全 花澤三作

全 中川權平

由比町實行委員 瀧川五郎左衛門

班 第 二

全	蒲原町實行委員	望月助次郎
全	伊東	小長井利吉
富士川町實行委員	常葉茂樹	
全	辻清太郎	
縣立農事試驗場技手	堀田雅三	

班 第 三

全	庵原村實行委員	勝又	長澤嘉十郎	片平鐵次郎	梅田熊藏
全	興津町實行委員	山田清治	松本熊市	野口德三	
全	靜岡縣柑橘同業組合聯合會技手				

全井上信一

興津園藝試驗場末澤中

全
松
原
茂
樹

(1) 各斑共七月二十日ヨリ十日間ノ豫定ニテ實施ス

(2) 被害園ニハ町村大字小字番地反別園主氏名ヲ記シタル建札ヲナシ赤色ノ布片ヲ付セシムルコト

(3) 實施濟ノ園ハ赤色布片ヲ取除キ白布片ヲ付シ標示トナスコト

(4) 各斑ニ於テ便宜ノ個所ニ藥劑調製所ヲ置キ藥品ノ製造ヲナスコト

(5) 各班一日ノ功程ハ約二町歩トスルコト

(6) 藥劑配合量ハ苛性曹達六十匁松脂百匁ニ對シ水二斗ヲ加ヘ施用スルコト

但翌日使用スベキ藥劑ノ内幾分ハ其前日調製シ置クコト

(7) 驅除ハ毎日午前七時ニ始メ午後五時ニ終ル

(8) 班長ハ其受持區域内ニ於ケル一切ノ事項ヲ擔任シ實行委員並ニ園主ヲ指揮シ驅除ヲ行ハシムルコト

(9) 實行委員ハ班長ノ指揮ニ從ヒ園主ヲ督勵シ驅除ニ從事セシムルコト

(10) 班長ハ毎日實施シタル園ノ町村大字小字番地反別樹數(苗木ナレバ樹令樹數)園主氏名及藥劑使用量其他必要ナル調査ヲナシ置クコト

(11) 翌日實施スベキ豫定地ノ園主ニ對シテハ前日班長ヨリ便宜ノ方法ヲ以テ其旨ヲ通告シ置ク事

(12) 驅除ニ要スル噴霧器桶等ハ實施當日園主攜帶シテ驅除ニ從事セシムルコト

(13) 驅除用具ハ各班ニ於テ日々整理シ紛失セザル様保管スルコト

(14) 柑橘以外ノ植物ニシテるび蠟蟲ノ附着セルモノハ所有者ト協議ノ上伐採其他便宜ノ方法ニ依リ驅除スルコト

(15) 驅除ニ要スル人夫ハ園主ニ於テ被害園一反歩ニ付二人以上ノ割合ヲ以テ出場セシムルコト

七 各班ニ於ケル實施日割ヲ定ムルコト左ノ如シ (雨天順延)

第一班 七月二十日廿一日廿二日 飯田村

全 二十三日 高部村

全 廿四日廿五日廿六日 袖師村嶺西久保

全 二十七日 由比町

全 二十八日 蒲原町

全 二十九日 富士川町

第二班 七月二十日ヨリ庵原伊佐布杉山山切尾羽ノ順序ニ實施ス

第三班 七月二十日ヨリ二十五日迄 興津町

全 二十六日ヨリ二十九日迄 小嶋村

第四班 七月二十日ヨリ二十五日迄 袖師村横砂

全 二十六日ヨリ二十九日迄 庵原村廣瀬茂畑

第四章 第三回ノ協議

第一回及第二回協議會ニ於テ決定シタル驅除實施事項ニ付七月十日庵原郡柑橘同業組合事務所ニ各關

係者ヲ招集シテ第三回ノ協議會ヲ開ク出席者ハ

全	全	全	全	庵原郡柑橘同業組合組長	庵原郡農會幹事	全	全	靜岡縣立農事試驗場長技師	靜岡縣柑橘同業組合聯合會組長	庵原郡書記	江尻警察署長警部	靜岡縣屬	庵原郡長
囑託	検査員	事務員	組合副組長	青木周作	山内順吉	吉田嘉七	岡田忠男	狩野辰男	橋本馬吉	高橋一	芹澤銀藏	楠島信龜	雀部威宜
内田郁太	有渡根由藏	興津藤太郎	久保田尙夫										

高部村實行委員	飯田村全	袖師村全	由比町全	全	蒲原町全	富士川町全	全	静岡縣立農事試驗場技手	全	庵原村實行委員	全	興津町全	興津町農會	小島村實行委員
永野敬次郎	齋藤清一	中川權平	瀧川五郎左衛門	望月助次郎	伊東鉦	常葉茂樹	辻清太郎	堀田雅三	勝又	長澤嘉十郎	片平鐵次郎	山田清治	深澤書記	深澤方中

全

望月喜多司

庵原郡農會技手

藤原茂八郎

庵原村實行委員

杉山彌作

以上三十二名ニシテ青木組長會長席ニ就キ開會ノ趣旨ヲ述ベ第二回協議會ニ於ケル協議案ヲ議題トナシ細目ニ亘リ熟議協定シ愈々驅除實行ニ着手スル事トナレリ依テ七月十九日第一班第二班ハ庵原村役場ニ第三班第四班ハ興津町役場ニ集合シテ藥劑ノ試製配布ノ方法等ヲ研究スル事トシテ散會セリ

第三編 驅除ノ實行

第一章 驅除費豫算

本驅除ノ經費豫算ハ緊急ヲ要スルヲ以テ組合ハ六月七日付ヲ以テ本縣ニ補助費貳千貳百圓ノ下付ヲ申請シタルニ六月廿四日補助費下付ノ内命ニ接シ全七月十三日付ヲ以テ正式ノ補助指令ニ接セリ依テ組合ハ七月四日臨時組合會ヲ召集シテ驅除費壹千壹百貳拾圓(補助ヲ除キタルモノ)ヲ議決シ事業ニ着手シタルニ藥劑原料松脂ノ暴騰ト驅除用品ノ騰貴並ニ被害劇甚ナル個所ハ第二回目驅除ヲ實施シタル等ノ爲メ經費ニ不足ヲ生ジタルヲ以テ不得已得金貳百五拾五圓五厘ハ豫備費ヲ流用支出シテ合計金壹千

參百七拾五圓五厘ヲ要シ本事業ヲ遂行スルヲ得タリ

而シテ辻村望月正治郎氏ハ金壹百圓ヲ寄附シテ本事業ノ遂行ヲ援助セラレタルハ大ニ多トセザル可ラ
ズ

本縣ヨリノ補助指令並ニ經費豫算並ニ決算左ノ如シ

靜岡縣指令産農第三八五八號ノ一

庵原郡柑橘同業組合

本年六月七日付申請るビ一蠟蟲驅除費補助ノ件聽届ケ苛性曹達六百八拾參貫七百匁下付候條左記命令
事項ノ通り心得ベシ

大正七年七月十三日

靜岡縣知事 赤 池 濃 圃

記

命令事項

一 藥品ハ左ノ町村ニ於ケルるビ一蠟蟲驅除用ニ充ツベシ

庵 原 郡 高 部 村

全	郡	飯	田	村
全	郡	袖	師	村
全	郡	由	比	町
全	郡	蒲	原	町
全	郡	富	士	川
全	郡	庵	原	村
全	郡	興	津	町
全	郡	小	島	村

二 藥品ハ大正七年夏季驅除ノ分ニ使用スベシ

三 驅除ニ關シテハ當廳ヨリ出張セル官吏々員ノ指揮命令ニ從フベシ

四 藥品使用ノ數量驅除施行反別驅除ノ成績經費決算書ハ驅除終了後拾五日以内ニ報告スベシ

五 本命令ニ違反シ又ハ交付セル藥品ヲ目的以外ニ使用シタルルハ藥品ヲ返還セシメ又ハ其代金ヲ辨

償セシムベシ

六 必要アル場合ハ隨時命令ヲ發スルコトアルベシ

七 本命令事項ニ對シテハ本書到達ノ日ヨリ三日以内ニ請書ヲ差出スベシ

請書

柑發第九三號

大正七年七月十三日付靜岡縣指令產農第三八五八號ノ一苛性曹達六百八拾參貫七百匁御下付ノ件並ニ附帶御命令事項謹承候也

大正七年七月十五日

靜岡縣庵原郡柑橘同業組合

組長 青木 周 作 團

靜岡縣知事 赤池 濃 殿

るびー蠟蟲驅除費豫算書

科 目	豫算金額	附 記
一項 松脂購入代	六七二〇〇〇	松脂九百九拾貫匁代一貫匁ニ付金七拾錢
二項 人 夫 賃	六四〇〇〇	一人八拾錢宛延八拾人分
三項 各 班 費	二三五〇〇〇	百五拾五圓實行委員手當
四項 雜 費	一四九〇〇〇	八拾圓器具費一斑ニ付金貳拾圓宛 諸 雜 費

合

計

一、一二〇〇〇〇

るびー蠟蟲驅除費決算書

科 目	決算金額	豫算金額		附 記
		増	比	
一項 松脂購入代	八二七五四〇	一五、五四〇	!	松脂千〇九拾壹貫五百貳拾匁代
二項 人 夫 賃	九七九八〇	六四〇〇〇	!	人夫賃延百貳拾貳入分
三項 各 斑 費	二六三四三五	二三五〇〇〇	!	九五、五〇〇實行委員手當
四項 雜 費	一八六〇五〇	一四九〇〇〇	!	一六七、九三五各斑器具費
合 計	一、三七五〇〇五	一、一四〇〇〇〇	二五五〇〇五	諸 雜 費

豫算ニ對シ金貳百五拾五圓五厘 支出増 豫備費ヨリ流用支出

第二章 驅除用品

驅除用品ノ主ナルモノハ藥劑製造ニ要スル苛性曹達、松脂、四斗樽、薪及撒布ニ要スル噴霧器等ニシテ苛性曹達ハ七月十五日全部本縣ヨリ下付セラレタリ噴霧器ハ豫備用トシテ拾五臺是又本縣ヨリ貸與

ヲ受ケ使用セリ松脂及其他ノ用品ハ静岡市及江尻町ニ於テ購入セリ其購入品目數量價格等ヲ舉グレバ
左ノ如シ

品 目	數	量	單 價	價 格
松 脂	一〇九一貫五二〇匁		七 六 六 弱	八二七五四〇
四 斗 樽	一六個		一一二五	一八〇〇〇
ブ リ キ 罐	二四個		七五〇	一八〇〇〇
荷 ヒ 桶 (棒 共)	四荷		三〇九〇	一二三六〇
柄 杓	一七本		一一〇〇	一七〇〇
篩	八個		七二五	五八〇〇
寒 冷 沙	二反		二八〇〇	五六〇〇
白 木 綿	二反		九五〇	一九〇〇
手 帳	一四冊		〇九〇	一二五〇
松 薪	二七五杷		〇九三	二五五六〇
大 ビ ン セ ッ ト	四本		一五〇	六〇〇

計	赤 木 綿	八 尺	一 個	一 一八〇	一 一四四〇
	石 白	一個	一 〇〇〇	一 〇〇〇	一 〇〇〇
				九二一七五〇	

備考・大釜天秤其他必要品ハ各班共借入シテ使用セリ

第三章 驅除着手

驅除費豫算ハ既ニ決定シ驅除用品略整頓シタルヲ以テ第二編第三章ニ掲グル所ノ實施方法ニ基キ左ノ四班ニ分チテ愈々七月二十日ヨリ一齊驅除ニ着手スル事トナレリ而シテ本驅除ニ着手スルヤ農商務省ヨリハ特ニ囑託片山秀太郎囑託二宮元孝ノ兩氏ヲ派遣セラレ本縣ヨリハ楠島肥田吉川矢島ノ四縣屬ヲ交互ニ派遣シ調査及指揮命令セラレ庵原郡長雀部咸宜氏ハ堪ヘズ各班ニ出張セラレテ當業者ヲ指導督勵シ警察官及町村農會長等時々各班ニ出張シテ便宜ヲ與ヘラレ本驅除ノ遂行ヲ援助セラレタルハ大ニ多トスベク實ニ本驅除ノ如キハ官民一致能ク其效果ヲ收メタリト云フモ過言ニアラザルベシ特ニ茲ニ記シテ當局者ニ感謝ノ意ヲ表ス

第一回 驅除區域及反別樹數

班 別	區	域	驅 除 反 別	全 上 樹 數
第一 班	飯田村 高部村 袖師村ノ内嶺西久保		二九八五 ^反 一五	二一〇七九 ^本
第二 班	由比町 蒲原町 富士川町 庵原村ノ内庵原 伊佐布 杉山 山切 尾羽 草ヶ谷		三一六五二二	一九五三三
第三 班	興津町 小島村		四三一 一二三	二七五四九
第四 班	庵原村ノ内廣瀬茂畑 袖師村ノ内横砂		三九九 一二三	二六一九二
合 計			一、四四五 四二三	九四三五三

第二回驅除ハ被害特ニ劇甚ナル地方及第一回ノ節調査未了ノ爲メ驅除洩レトナリタル個所ニ對シ第一回ト同一方法ヲ以テ八月八日ヨリ驅除ニ着手シタリ

第二回驅除區域及反別樹數表

班 別	區	域	再驅除反別	全上樹數	一 回 驅 除 反 別	全上樹數	合 計
第一 班	飯田村 高部村 袖師村		七三九〇六 ^反	六〇三〇 ^本	五七九〇〇 ^反	三 四六 ^本	一三二六〇六 ^反
第二 班	ノ内嶺 西久保 由比町		九九四〇五	六四七六	一	一	九九四〇五
第三 班	興津町 小嶋村		一一五二二 ^反	八四〇〇	三八九〇八	二六五二	一六三〇一二
							六四七六
							九一七六 ^本
							一〇八五三

第四班	袖師村ノ内横砂 庵原村ノ内廣瀬	一四七〇	二六〇〇	—	—	一六四〇〇	一一六三〇
合 計		四六三二五	三三三六	九六〇八	五七六	五五八七三	三八二三四

第一回及第二回驅除延反別並ニ樹數

驅 除 反 別 貳百町四反貳畝拾六步

全 樹 數 拾參万貳千四百八拾七本

而シテ各班共便宜ノ個所ニ藥劑調製ノ釜場ヲ設ケ赤旗ヲ樹テ、其所在ヲ明示シ班長及實行委員ハ交互ニ實施園ヲ巡視シテ撒布ノ指導及監督ニ從事セシメタリ

第四章 藥劑ノ調製及撒布方法

驅除藥劑ハ松脂苛性曹達合劑ニシテ松脂百匁苛性曹達六拾匁ニ對シ熱湯壹升ヲ加ヘテ原液ヲ調製シ之レニ水壹斗九升（二十倍）ヲ加ヘテ撒布セシメタリ而シテ松脂ハ乾燥セル粗製品ヲ用ヒ豫メ粉末トナシテ各班ニ配布シ各班ニ於テハ茶蒸釜ニテ水ヲ煮沸シ置キ四斗樽中ニ所定量ノ苛性曹達ヲ投入シ熱湯ヲ注入スルハ苛性曹達ハ自熱ヲ發シテ溶解ス之レニ松脂ヲ加ヘテ攪拌シツ、所定ノ熱湯ヲ注入シテ本劑ヲ調製ス斯クシテ調製シタル原液中ニハ松樹皮並ニ塵芥等混入シ居ルヲ以テ使用ニ際シテハ金網製ノ篩ニテ濾過シ施用セシメタリ苛性曹達ハ七五％以上ノ溶解容易ナルモノナリキ藥劑ノ効力如何ハ

撒布ノ方法ニ依リ決定スルモノニシテ本劑ノ目的ハ分泌セル蠟質物ヲ傷メ且ツ氣門ヲ閉塞窒死セシムルモノナルガ故ニ驅除ニ際シテハ勉メテ蟲体ニ附着セシムル様ニ注意セザル可ラズ特ニ本蟲ハ第一編第四章ニ詳述セル如ク上昇スルノ性ヲ有シ本春發芽シタル新梢及葉ノ表裏等ニ寄生シ其他ノ枝梢ニ寄生スルコトハ殆ンド稀ナルニ依リ此点ニ注意シ噴霧器ハ威ルベク強力ノモノヲ選ミ充分藥液ヲ灌注スル様注意スベキコト肝要ナリトス

第四編 驅除ノ終了

第一章 驅除ノ成績

七月二十日ヨリ着手シタル本驅除ハ最初一日ハ熟練セザル爲メ作業豫定ノ如ク進捗セザリシモ二十一日以後ハ着々進捗シ豫期以上ノ成績ヲ以テ第一班第四班ハ二十八日第二班第三班ハ二十九日全部終了シ第二回ハ八月八日ヨリ着手シ全十二日全部終了セリ而シテ其効果ニ至リテハ第一回ハ總平均九二%以上ヲ驅除シ第二回ハ調査期日後レタル爲メ死滅セルモノ、内風雨ノ爲メ剝離セルモノ多數アルヲ認ムルモ尙總平均八一%以上ヲ驅除シタルノ好成績ヲ收メタリ今各班ニ於ケル毎日ノ施行反別及樹數功程表並ニ成績表ヲ表示スレバ左ノ如シ

るびー蠟蟲發生區域圖



- 第一班 参拾四町四反貳畝步
- 第二班 参拾壹町五反七畝七步
- 第三班 四拾八町貳反壹步
- 第四班 参拾九町九反壹畝貳拾参步

合計 壹百五拾四町壹反壹畝壹步



第一回驅除施行反別及樹數功程表

月 日	種別		第一班	第二班	第三班	第四班	合 計
	反別	樹數					
七月二十日	反 六〇一九	本 四六三三	反別 一三八〇三	本 七七四	反別 一	本 一	反 七三八三
全廿一日	九〇二一八	五七五四	四〇九〇九	二五五三	一七六三三	一	一八七五〇九
全廿二日	二五三三〇	一七八九	三三九〇八	二二三四	四〇四〇六	四三〇二九	一四一八〇三
全廿三日	二八五〇〇	一七六七	二四八二一	一四六〇	八四〇一一	四七五〇	一九九六一九
全廿四日	三六二二三	二四八一	二七五二〇	一三五五	四六〇一九	七三八二三	一八三六三四
全廿五日	一	一	七八〇九	四九四九	四四八三三	二〇〇一五	一四三二一七
全廿六日	一六七〇〇	一一九〇	四三九一七	二四九九	二四六三三	一七三〇	二二九三二〇
全廿七日	四六〇五	三四六	一	一	四〇四一五	二八八八	九九八二〇
全廿八日	三六〇〇〇	三三三〇	一	一	七三九一五	五九一三三	一七三二一五
全廿九日	一	一	五六二二五	三八四九	五九〇〇九	四三三一	一五三〇〇四
計	二九八五五	二二〇七九	三一六五二	一九五三三	四三一二三	二七五四九	九四二五三

第一回驅除成績表

第一班

調查番號	調查頭數	死蟲頭數	生存頭數	死滅歩合
一	二〇〇	一八一	一九	九〇、五%
二	二〇〇	一九六	四	九八、〇
三	二〇〇	一九二	八	九六、〇
四	二〇〇	一六七	三三	八三、五
平均				九二、〇

第二班

一	二〇〇	一九四	六	九七、〇%
二	二五〇	二二〇	三〇	八八、〇
三	二五〇	二三一	一九	九二、四
四	五八	五七	一	九八、〇

第 三 班

平 均	八	七	六	五
	二〇〇	一〇〇	二〇〇	二五〇
	一八三	一〇〇	一九六	二五〇
	一七	〇	四	〇
九六、八	九一、六	一〇〇、〇	九八、〇	一〇〇、〇

七	六	五	四	三	二	一
二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
一七四	一七六	一七二	一九五	一九一	一六二	一九八
二六	二四	二八	五	九	三八	二
八七、〇	八八、〇	八六、〇	九七、五	九五、五	八一、〇	九九、〇%

第 四 班

平			
均	一 〇	九	八
	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇
	一 九 五	一 九 九	一 八 八
	五	一	二
	九二、五	九九、五	九四、〇

	八	七	六	五	四	三	二	一
	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇	二 〇 〇
	一 七 九	一 七 四	一 八 一	一 六 〇	一 七 四	一 九 二	一 八 七	一 九 九
	二 一	二 六	一 九	四 〇	二 六	八	一 三	一
	八 九、 五	八 七、 〇	九 〇、 五	八 〇、 〇	八 七、 〇	九 六、 〇	九 三、 五	九 九、 五

九	二〇〇	一六九	三一	八四、五
平均				九〇、〇
總平均				九二、八強

第二回驅除施行及樹數功程表

種別 月日	第一班		第二班		第三班		第四班		合計	
	反別	樹數	反別	樹數	反別	樹數	反別	樹數	反別	樹數
八月八日	反 三二〇〇	本 二〇三三	反 	反 	反 	本 	反 	本 	反 三二〇〇	本 二〇三三
全九日	二二八〇	一五二九					五〇三〇〇	三四五八	七二〇〇	四九八九
全十日	五〇〇六	三五二七	二七五二四	一〇三三	五六五二	四〇六三	四〇六〇〇	二七九三	一六四八〇三	一一四一四
全十一日	二八五〇	二〇八八	七七二一	五〇六七			七三八〇〇	五三八〇	一七九四二二	一三五三五
全十二日			四七〇〇	三七六	一〇六五〇〇	六七九〇			一一二〇〇	七二六六
計	三二六〇六	一九一七六	九九四〇五	六四七六	一六三〇一三	一〇八五三	一六四七〇〇	一一六三〇	五五八七二三	二八一三四

第二回驅除成績表

第一班

調查番號	調查頭數	死蟲頭數	生存頭數	死滅歩合
一	二〇〇	一八九	一三	九三、五%
二	二〇〇	一二一	七九	六〇、五
三	二〇〇	一八〇	二〇	九〇、〇
四	二〇〇	一六七	三三	八八、五
五	二〇〇	一三四	六六	六七、〇
平均				七九、九

第二班

調查番號	調查頭數	死蟲頭數	生存頭數	死滅歩合
一	二〇〇	一七一	二九	八五、五
二	二〇〇	一四三	五七	七一、八
三	二〇〇	一五六	四四	七八、〇
四	二〇〇	一八二	一八	九一、〇

平均	五
	二〇〇
	一六五
	三五
	八二、五
	八一、七六

第三班

平均	一	二	三	四	五
	二〇〇	二〇〇	六四	二〇〇	二〇〇
	一四六	一五二	四八	一八四	一七四
	五四	四八	一六	一六	二六
	七三、〇	七六、〇	七五、〇	九二、〇	八七、〇
					八〇、六

第四班

一	二	三
二〇〇	二〇〇	二〇〇
一七八	一五四	一五五
二二	四六	四五
八九、〇	七七、〇	七七、五

總 平 均	平 均	四	五
		二〇〇	二〇〇
		一七三	一六八
		二七	三二
		八六、五	八九、〇
		八二、八	八一、三

第一回第二回驅除施行反別樹數累計表

種 別	回 數	第一班		第二班		第三班		第四班		合 計	
		反 別	樹 數	反 別	樹 數	反 別	樹 數	反 別	樹 數	反 別	樹 數
第一回	反	二九八五二五	二一〇七九	三六五二三	一九五三三	四二二二三	二七五四九	三九九二二三	二六一九三	一四五四二三	九四三、五三
第二回	本	一三二六〇六	九一七六	九九四九五	六四七六	一六三〇一二	一〇八五三	一六四七〇〇	一一六三〇	五五八七三三	三八一三四
計		四三〇二二	三〇二五五	四四五九二七	二六〇〇九	五九四三〇五	三八四〇一	五六三八二三	三八八二三	二〇四二一六	一三五四八七

反別 貳百町四反貳畝拾六步
樹數 拾參万貳千四百八拾七本

第二章 驅除人夫及藥劑製造量

本驅除ニ使用シタル人夫ハ藥劑原液調製ニ從事シタルモノ、外ハ全部被害園主ノ負擔ニ屬シ其實數調査ニ困難ナルモ七月二十日以來ノ實行委員及人夫數ヲ表示スレバ大要左ノ如シ

第一回驅除實行委員及出役人夫數表

月日	種別	第一班		第二班		第三班		第四班		合計	
		實行委員	出役人夫	實行委員	出役人夫	實行委員	出役人夫	實行委員	出役人夫	實行委員	出役人夫
七月二十日	人	二	一〇七	三	三	一	一	一	一	五	一四二
全 廿一日	人	二	二二	三	一〇五	四	三八	三	三九	一三	三九
全 廿二日	人	二	五二	三	六三	四	九二	三	九七	一三	三〇三
全 廿三日	人	二	五一	三	五七	四	一九二	三	一〇六	一三	四二一
全 廿四日	人	二	一〇三	三	六〇	四	一二九	三	一一九	一三	四一〇
全 廿五日	人	一	一	三	一五七	四	一〇三	三	三二	一〇	二九二
全 廿六日	人	二	一〇一	三	一〇一	四	五八	四	九〇	一三	三五〇

第二回實行委員及人夫數表

計	全 廿七日	全 廿八日	全 廿九日
二六	二	二	一
六六八	二〇	三三	一
二四	一	三	三
六九八	一	一三	一
三五	四	三	四
一、〇二一	二〇	一六七	一三八
二六	四	三	一
六三八	七五	八二	一
一〇二	一〇	八	七
三、〇二五	一九五	二八二	二四九

月日	種別	第一班	第二班	第三班	第四班	合計
八月八日	實行人出役	二	一	一	一	七
全九日	委員	一	一	一	二	三
全十日	實行人出役	二	一	一	二	六
全十一日	委員	一	二	三	二	八
全十二日	實行人出役	一	一〇	九	一	二一
合計	委員	六	四	九	六	二五
合計	實行人出役	二六	二四	三五	二六	一〇一
合計	合計	三二	二八	四四	三三	一三六
合計	合計	九三	九四	一、三五一	八九六	四、一三三

藥劑製造量

本驅除ニ使用シタル藥品ノ總數量ハ苛性曹達五百八拾九貫八百貳拾匁（外ニ九拾參貫八百八拾匁ハ取扱中欠損）松脂壹千〇貳拾七貫七百九拾匁（外ニ六拾壹貫貳百四拾匁ハ取扱中欠損）ニシテ藥劑原液九拾六石四斗六升參合ヲ製造シテ撒布セリ之レヲ各班別ニ區分スレバ左ノ如シ

第一回苛性曹達及松脂支拂表

種別 月日	第一班		第二班		第三班		第四班		合計	
	松脂	苛性曹達	松脂	苛性曹達	松脂	苛性曹達	松脂	苛性曹達	松脂	苛性曹達
七月十九日	二六八〇〇	二五三〇	二五三〇〇	一五七五〇	二七五〇〇	一五七六〇	二五三〇〇	一五六六〇	一〇八一〇	五九五〇
全二十日	-	-	二七八五〇	二〇七五〇	七二〇〇	二九〇〇	七四〇〇	三六〇〇	四三四七〇	二七二〇
全廿一日	三五二〇〇	二二〇〇〇	-	-	二〇二〇〇	一一六〇	二〇八〇〇	一一〇〇〇	七五九〇〇	四八二四〇
全廿二日	三五〇〇〇	一〇七〇〇	-	-	三〇〇〇〇	一五五〇〇	二三四〇〇	一五九八〇	八八四〇〇	四一九八〇
全廿三日	二五〇〇〇	一六〇〇〇	二〇〇〇〇	一七五〇	二五〇〇〇	一七九〇〇	四〇〇〇〇	二八八〇〇	一一〇〇〇〇	八〇六五〇
全廿四日	一六〇〇〇	七二〇〇	-	-	三〇〇〇〇	一七二〇〇	二五〇〇〇	一五七〇〇	七二〇〇〇	四〇〇二〇
全廿五日	一三〇〇〇	一〇〇〇〇	二〇〇〇〇	-	-	-	四六九〇〇	一六九六〇	六八一〇〇	一七七六〇

第二回苛性曹達及松脂支拂表

計	全 廿 六 日	全 廿 七 日	全 廿 八 日	全 廿 九 日
一五〇一〇〇		一一〇〇〇		
八三八二〇		六三三〇〇	九〇〇	
一一〇八五〇		一八七〇〇		
六三五九〇		一〇〇〇〇		
二五八九二〇		六〇〇〇〇	一九〇〇〇	四〇〇〇〇
一四六二〇〇		三三〇〇〇	一七三〇〇	一六三〇〇
二〇四二二〇				一五三〇〇
一一八九四〇				一二二〇〇
七三三九九〇	三七七〇〇	六〇〇〇〇	一一〇〇〇	五五三〇〇
四一三三七〇	二七三〇〇	三三九〇〇	六三〇〇〇	二八五〇〇

月 日	種 別	第一班	第二班	第三班	第四班	合 計
八月七日	松脂	二五〇〇〇	二五〇〇〇	二五〇〇〇	二五〇〇〇	一〇〇〇〇〇
全八日	苛性曹達	一〇五四〇	一一一〇〇	二一八五〇	一一二〇〇	四四六九〇
全九日	松脂			二五〇〇〇	二五〇〇〇	五〇〇〇〇
全十日	苛性曹達	一〇三三〇	六二〇〇	二四七〇〇	一七七〇〇	五八八五〇
全十一日	松脂	五〇〇〇	三二〇〇〇	三七〇〇〇	一二二〇〇	六五八〇〇
	苛性曹達			二七九〇〇	九六五〇	四一三五〇

第一回藥劑原液製造高各班別表

計	合 計
七五〇〇〇	二五二〇〇
四三〇五〇	一六八七〇
三六六〇〇	一四七四五〇
二二〇〇〇	八三五九〇
一〇七〇〇〇	三六五九二〇
六四四五〇	二二〇四七〇
八五二〇〇	二八九三三〇
四九九五〇	一六八八九〇
三〇三八〇〇	二〇二七七〇
一七八四五〇	五八九八二〇

月 日	種 別	第一 班	第二 班	第三 班	第四 班	合 計
七月二十日	全	二二一五	三三五	一	石	二五五〇
廿一日	全	四三一五	八一四	一一八〇	二七四五	九〇五四
廿二日	全	一一三五	一〇一五	二四二〇	二五七六	七一四六
廿三日	全	一八一五	八四七	四二八四	三二四五	一〇一九一
廿四日	全	二二六〇	九四五	二一三五	三五七五	八九一五
廿五日	全	一	一七八五	二四五二	八九〇	五一二七
廿六日	全	一〇四〇	一一八〇	一三九〇	二〇四四	五六五四
廿七日	全	二一〇	一	一八六一	一八一〇	三八八一
廿八日	全	一七七〇	一	五一八〇	三〇一〇	一〇〇六〇
廿九日	全	一	一九一五	四五〇〇	一	六四一五

計	一四七六〇	八八二六	二五五〇二	一九八九五	六八九九三
---	-------	------	-------	-------	-------

第二回藥劑原液製造高各班別表

月 日	種 別	第一班	第二班	第三班	第四班	合 計
八月八日	石	二一七七				二一七七
全 九 日		一〇七〇			一八六〇	二九三〇
全 十 日		一六六五	五一〇	四四〇三	一八九五	八四七三
全 十一 日		一一八五	一二九五		三六七〇	七三五〇
全 十二 日			四〇〇	六一四〇		六五四〇
計		六二九七	三二〇五	一〇五四三	七四二五	二七四七〇
合 計		二二〇五七	一二〇四一	三六〇四五	二七三二〇	九六四六三

藥劑撒布數量

藥劑散布ノ數量ハ即チ原液ヲ貳拾倍ニシテ施用セシメタルヲ以テ即チ第一回千參百七拾九石八斗六升
第二回五百四拾九石四斗合計千九百貳拾九石貳斗六升ヲ撒布シタリ之レガ内譯及反當平均等左ノ如シ

D

6-5

553